



あらためて考えよう 昔ばなしのすばらしさ

### オススメの昔ばなし絵本5選



昔ばなしには、何百年も前から語り継がれ、時代にもまれながら生き残ってきた、おもしろいエッセンス満載のおはなしが沢山あります。

実習で読み聞かせの絵本に迷ったら、昔ばなしを取り上げてみてはいかがでしょうか？必ず子ども達の心を惹き付けることができるはずです。

ここではオススメの日本の昔ばなし絵本5冊を紹介したいと思います。

(図書館 大久保)



#### 【笑える話】

長谷川摂子文 荒井良二絵『へっこきあねさ』岩波書店 2012

おならが豪快すぎるお嫁さんの昔ばなしは何パターンも存在しますが、ここでは荒井良二さんが絵を手がけたものをご紹介します。荒井良二さんのかわいらしい絵とおかしなお嫁さんのお話がマッチして子ども達もくぎづけになることでしょう。

#### 【こわい話】

水沢謙一再話 梶山俊夫画『さんまのおふだ』福音館書店 1990

やまんばが小僧さんをとことんまで追いかけるとも迫力のあるお話。緊迫感が子どもを惹き付けます。最後の和尚さんとやまんばのトンチ合戦もみどころ。

#### 【泣ける話】

瀬戸内寂聴文 岡村好文絵『月のうさぎ』講談社 2008

自分の身を犠牲にして大切な人を助けるお話。この仏教における菩薩行という考えは宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』のカムパネルラに通じています。



#### 【恋する話】

矢川澄子再話 赤羽末吉画『つるによぼう』福音館書店 1989

動物が恩返しをするお話は、昔ばなしから現代小説まで綿々と受け継がれてきた題材です。最近では映画にもなった『陽だまりの彼女』がそうですね。昔ばなしを知っていると、現代の小説などをより深く楽しむことができます。

#### 【すっきりする話】

木下順二 著 清水崑絵『かにむかし』岩波書店 1976

だれもが知っている「さるかに合戦」。本書は読み聞かせしやすいよう、擬音を豊富に使うなどの工夫がされています。さる退治の場面も、残酷さはなく、子どもが無邪気に楽しめるようにさらっとしています。カッパのイラストでおなじみの清水崑さんの絵が愛らしいです。

